



Jop

2014年10月号 第30巻 第10号 通巻347号



John V. Mershon (1867~1953)

Angle School早期の卒業生であり、1916年から1925年の間、ペンシルベニア大学の矯正学主任を務めた。大学生には、それまでの機械的な矯正治療法でなく、生物学的矯正の必要性を説いた。

自然な動きは歯周組織が安定したところに歯を移動させ、後戻りが少ないという生物学的矯正法を推奨し、Dewey Schoolやノースウェスタン大学でも教えた。

表紙絵：島本和則（ソフィア歯列矯正歯科医院）

今月のファイル	5	医療への苦情件数は横ばい—「接遇」「医療費」関連は減る
Topics	6	医療費39兆3千億円、13年度概算、過去最高、地域差1.5倍 ほか
MODERN ORTHODONTICS	11	●第12回東京歯科大学外科的矯正治療勉強会 顔面非対称は何を基準に修正するのか 齊藤 力（新潟大学名誉教授、東京歯科大学口腔外科学講座客員教授）
MODERN ORTHODONTICS	37	●The principles and practice of digital orthodontics-7 TADsを用いて顔貌改善を行ったリンガル矯正の治療例 布川隆三（布川矯正歯科）
MODERN ORTHODONTICS	69	●矯正医のためのBasic Perio Seminar-3 歯の移動の副作用に対する歯周療法的リカバリー その1—歯肉退縮の処置 久世香澄（ボストン大学歯科医学部歯周病学科）
MODERN ORTHODONTICS	83	●日本成人矯正歯科学会 第20回大会特別講演 固定式機能的矯正装置での成人Ⅱ級症例の顎整形治療・後 Terry Dischinger（パシフィック大学教授） 監訳：武内 豊（たけうち矯正歯科クリニック）
寄稿	99	●歯科医療施設のインターネット広報を考える-1 インターネット広報と広告の差を考える 小泉 創、大塚剛郎、河田俊嗣（神奈川歯科大学口腔科学講座歯科矯正学分野）
Internet Interview	105	●APOS会長のインターネットインタビュー-11 歯学と歯科矯正学を米国で修了したインドネシア矯正歯科学会の重鎮 Himawan Halim（ナバル歯科医学研究所歯科矯正学講座主任） 丹根一夫（広島大学名誉教授）
Congress Report	111	学会&セミナー速報 115 小児歯科臨床バックナンバー 128 URL BOARD 122 編集部から 129 新製品紹介 127 奥付 130

● 学会/セミナー広告

第20回日本非抜歯矯正研究会記念大会	4	Dr.石川「セットアップセミナー」	30
第9回マイクロインプラントアンカレッジ東京大会	10	Dr.Brunoセミナー「筋機能矯正装置を用いた早期治療」	31
第2回日韓合同舌側矯正歯科学会学術大会	22	コルチコトミー ベーシック実習2日間コース	32
日本舌側矯正歯科学会プレングレスコース	23	FLBリンガル2日間実習コース	33
「ストレートワイヤーエッジワイズ」セミナー	24	Dr.丸山セミナー「ムーシールドを用いた私の臨床」	34
Dr.McLaughlinによる矯正プログラムⅣ	25	Dr.白数セミナー「健全な歯列の育成をめざして」	35
Dr.柳澤セミナー「ムーシールドの臨床応用」	26	ハーモニー・ユーザーミーティング	57
Dr.長谷川セミナー「GUMMETALワイヤーの使い方」	27	インビザライン・システム導入コース	60
GC ORTHOLY SEMINAR 2014	28	JETsystem ベーシックセミナー 綴込 (82v83)	
第3回顎顔面口腔育成研究会 学術大会	29		

